

2025年8月4日

長崎県知事
大石 賢吾様

長崎県保険医協会
会長 本田 孝也
(会員：県内医師・歯科医師1,845人)

被爆体験者との面談と被爆体験者問題の 速やかな政治的解決を求める要望書

国民生活・福祉向上に対する貴職のご尽力に敬意を表します。

2024年4月より広島県の黒い雨地域の住民に対して被爆者健康手帳の交付が始まりましたが、長崎の被爆体験者は救済の対象外とされました。

昨年8月9日、岸田前首相はこの問題について「課題を合理的に解決できるよう、長崎県市を含めて具体的な対応策を調整すること」を武見前厚労大臣に指示しました。

一方、9月9日、長崎地裁は被爆体験者訴訟の原告15名に勝訴、残りの29名に敗訴の判決を言い渡しました。

当会は昨年9月19日、岸田文雄前首相、武見前厚労大臣宛に「全ての被爆体験者に速やかに被爆者健康手帳を交付すること」を求める署名28,056筆と「勝訴原告15名を控訴しないこと」を求めたオンライン署名972名分を提出しました。しかし、岸田文雄前首相は無常にも控訴を指示、その後発足した新たな被爆体験者医療費助成制度は合理的解決には程遠く、「被爆者と認めて欲しい」という被爆体験者の切なる願いはかなわぬまま控訴審が続いています。

そこでオンライン署名を「被爆体験者訴訟の勝訴原告への控訴を取り下げ、すべての被爆体験者を被爆者と認定してください」として継続したところ、前回提出分も含め6,787名分が届いており、追加で寄せられた書面による署名667筆とあわせて本日提出いたします。

今年是被爆80年、節目の年です。被爆体験者は高齢化し、残された時間は刻一刻と少なくなっています。

貴職におかれましては、被爆体験者及び国民の声に耳を傾け、下記の実現を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 8月9日の被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典後に、被爆体験者と石破首相との面談の機会を設けてください。
- 現在進行している福岡高裁における判決を待つことなく、政治的解決で全ての被爆体験者に速やかに被爆者健康手帳を交付するよう石破首相に働きかけてください。

以上

2025年8月4日

長崎市長
鈴木 史朗様

長崎県保険医協会
会長 本田 孝也
(会員：県内医師・歯科医師1,845人)

被爆体験者との面談と被爆体験者問題の 速やかな政治的解決を求める要望書

国民生活・福祉向上に対する貴職のご尽力に敬意を表します。

2024年4月より広島の高い雨地域の住民に対して被爆者健康手帳の交付が始まりましたが、長崎の被爆体験者は救済の対象外とされました。

昨年8月9日、岸田前首相はこの問題について「課題を合理的に解決できるよう、長崎県市を含めて具体的な対応策を調整すること」を武見前厚労大臣に指示しました。

一方、9月9日、長崎地裁は被爆体験者訴訟の原告15名に勝訴、残りの29名に敗訴の判決を言い渡しました。

当会は昨年9月19日、岸田文雄前首相、武見前厚労大臣宛に「全ての被爆体験者に速やかに被爆者健康手帳を交付すること」を求める署名28,056筆と「勝訴原告15名を控訴しないこと」を求めたオンライン署名972名分を提出しました。しかし、岸田文雄前首相は無常にも控訴を指示、その後発足した新たな被爆体験者医療費助成制度は合理的解決には程遠く、「被爆者と認めて欲しい」という被爆体験者の切なる願いはかなわぬまま控訴審が続いています。

そこでオンライン署名を「被爆体験者訴訟の勝訴原告への控訴を取り下げ、すべての被爆体験者を被爆者と認定してください」として継続したところ、前回提出分も含め6,787名分が届いており、追加で寄せられた書面による署名667筆とあわせて本日提出いたします。

今年是被爆80年、節目の年です。被爆体験者は高齢化し、残された時間は刻一刻と少なくなっています。

貴職におかれましては、被爆体験者及び国民の声に耳を傾け、下記の実現を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

- 8月9日の被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典後に、被爆体験者と石破首相との面談の機会を設けてください。
- 現在進行している福岡高裁における判決を待つことなく、政治的解決で全ての被爆体験者に速やかに被爆者健康手帳を交付するよう石破首相に働きかけてください。

以上